

# 文章と資料の結び付きを視覚化して、 情報を整理し、内容を正確に読み取る学習

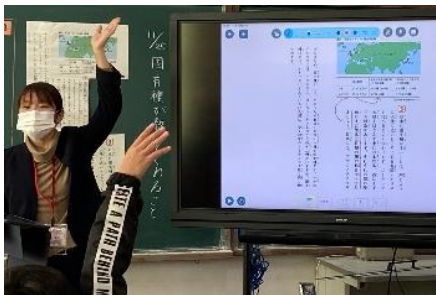
第5学年

固有種が教えてくれること

こんな子どもたちの姿が生まれました！

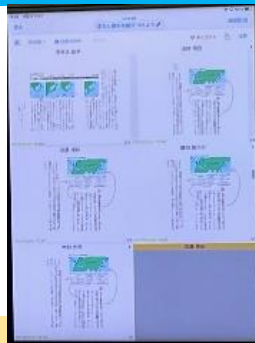
- 資料と文章のどの部分が結び付くのかを短く抜き出すことで、情報を整理することができました。
- ICT 端末に色を分けて線を引いたり、書き込みをしたりするなど、試行錯誤しながら考えをもつことができました。

## ICT 端末と大型提示装置の活用による効果



### 教師の指導のポイント

- 学級の人数に関わらず、複数の端末画面を映し出し、共有して考え方や示し方を学び合ったり、自分の考えと比較したりしながら、学習に見通しをもつことができるようにする。



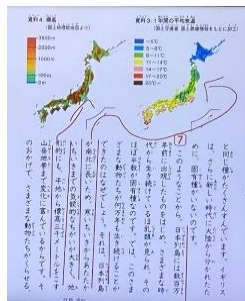
### 文章と資料の結び付きや考え方を全体で確認し、学習の見通しをもつ

- ・一つの資料を提示し、文章のどの部分とつながっているのかを全員で考える。
- ・学級全員の個々の端末画面を大型画面に映し出すことで、考え方や結び付きを分かりやすく示す方法を学び合う。

## ICT 端末と協働学習支援ツールの活用による効果



資料があることで、文章のどの部分がどうなるのかということを考えさせるようにすることで、資料の効果を理解したり考えたりすることにつながります。



### 文章と資料の結び付きを考える際に、書いたり直したり、色分けしたりしながら、情報を整理する。

- ・全体で共有したことをもとに、個々で、文章のどの部分と資料のどこが結び付くのかを考える。
- ・文に線を引くときには、短く線を引いたり、資料との結び付きを、矢印でつないだり、色分けしたりしながら視覚化する。
- ・一度考えをもった児童は、保存して提出する。その後、再度読み返したり、仲間と考えを共有したりするよう指示を出し、より短い言葉で抜き出すために線を引き直したり、書き込みを追加したりする。

### 教師の指導のポイント

- 「短い言葉で抜き出す」ことを常に意識して考えさせることで、必要な情報を見付けたり、文章と資料を結び付けて正確に理解したりできるようにする。
- 一度考えをもった児童には、画面を保存して提出させ、もう一度読み返したり、仲間の考えと比較させたりして、考えを再構築させる。ICT 端末の、何度でも線を消して書き直したり、考えを追加したりできるよさを生かし、再構築した考えを再度提出させることで、評価につなげる。